



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



世界に希望を生み出そう



4 2024
April
Vol. 10

To Club Presidents Secretaries in District 2790 (CHIBA)



沖ノ島(館山市)
提供 ©館山市

2023-24年度地区テーマ

Bring up Engagement

エンゲージメントを育もう

ガバナー 鶴沢 和広(千葉若潮RC)

「環境」月間に寄せて

1月1日の能登半島地震で被災された方々の中には、まだ自宅に帰れない多くの避難者がいます。避難先の学校で卒業式を迎えたり、諦めて移住を決める方もいるようです。今、世界中では気候変動による自然災害で多くの避難民が発生しており、その数は紛争による避難民の数と大きく変わらないと言われています。2021年7

月にロータリーの重点分野に新しく「環境」が加わりました。我々ロータリークラブも積極的に環境問題に取り組み子供たちの未来を守っていくことが大切です。

ロータリークラブが取り組んでいる環境保護



活動には

1. 公園や海岸などの清掃イベントを主催し、地域の美化と自然保護を促進する活動。
2. 地域社会やメンバーに環境への意識を高める取り組みをしたり、環境に関する講演会やワークショップを開催し、持続可能な生活やエコロジーについての理解を深めるような啓蒙活動。
3. 太陽光パネルの設置や風力発電プロジェクトの支援など、地域の持続可能なエネルギー源の開発を支援する活動。
4. 森林の再生や環境改善に向けた植樹プロジェクトを実施し、地域の豊かな自然環境の維持を支援する活動。
などがあります。

第2790地区では昨年12月に第5グループが中心となって鋸山を日本遺産に登録することを旨とする活動の一環として清掃活動を行い、3月には館山の沖ノ島で森の再生プロジェクトを開催しました。その他、クラブ単位での水辺や公園の清掃活動も盛んに行われています。ロータリーが中心となって多くの市民を巻き込んで環境保護活動を行い、インパクトをもたらすことが出来ればとてもうれしいことです。

2023-24年度も残り3ヶ月となりました。皆さんのクラブで予定されている奉仕活動の成果はいかがですか。近年のロータリーは継続性を重んじています。素晴らしい奉仕活動は継続して拡大することが大切です。皆さんの奉仕活動が成功するか否かは皆さんの「やる気とクラブの団結」にかかっています。ロータリーの行動計画には四つの優先事項があり、その一つは「インパクトをもたらす」です。皆さんのクラブの奉仕活動の成果を世の中に伝えてインパクトをもたらしてください。



千葉中央RC おもいやりの小径プロジェクト



館山RC 花のまちづくり事業 城山植栽風景



松戸北RC 梨狩り体験支援プロジェクト



柏東RC 高柳駅前植樹事業



第2グループインターシティー・ミーティング報告

第2グループ ガバナー補佐 石井 博 (船橋みなと RC)

2024年2月20日(火) 船橋市内の老舗中華料理店 東魁楼本店にて開催。

第2グループ会員数130名中100名70%の出席を得て大盛況の会でありました。(会場のキャパシティマックスに近く、主催する者としては冷や汗ものでした。)

テーマは「さまざまな若者の意見を聞こう!」。日本社会のダイバーシティの欠如を改善すべき社会課題と捉え、このミーティングをロータリーメンバーの皆さんと考える契機になればとテーマを設定。

基調卓話者は、ポーランド出身の平和フェロー Maciej Witek (マチェイ ヴィテク) 様と中国出身の千葉大学生である地区米山奨学生 玄 香花 (ゲンコウカ) 様のお二人。

Maciej Witek様の卓話は、「他国、他民族の中で生活する効果的系統的方法論とその実践報告」。玄香花様の卓話は、「日本と中国と韓国の敬語の捉え方の差異の研究についてと、日本の敬語理解を通して、自身の日本理解の深化経験について中々深いお話」でした。お二人は、共に非常に知的な外国から来た若者。日本社会のダイバーシティに資するところ大と感銘を受け、ロータリーの活動の有意義性を再確認致しました。

その後、各クラブの会長エレクトの自己紹介と次年度の抱負を伺い、山崎新一パストガバナー補佐へ感謝状贈呈式を行ないました。

ミーティング後の懇親会は、中途退出者も極極少なく、2時間の大盛況でありました。



第3グループインターシティー・ミーティング開催報告

第3グループ ガバナー補佐 海寶 勘一 (千葉西 RC)

第3グループのインターシティー・ミーティングは、千葉西RCがホストになり三井ガーデンホテル千葉に於いて、2月16日13時30分開会点鐘されました。第1部の講演者である第2800地区寒河江RCの鈴木一作様は、ロータリーの理念や組織運営と様々なロータリー情報を解りやすく説明してくれました。鵜沢和広ガバナーの年度テーマを実現させる為にも、開催趣旨を「クラブ奉仕を正しく理解してエンゲージメントを育もう!」と提示しました。ロータリアンの1丁目1番地であるクラブ奉仕の基本を丁寧に説いていただき、ロータリアンが対峙し向かうべき道筋が理解できました。地区内外からも多くの方が参加され、共に学び意見交流に参加され、和やかな中にも学びの大切さを共有することができ嬉しい限りです。奥様も同席され、ご夫妻揃って地域貢献されている姿とロータリー愛のお

話に触れて、奉仕の理想を伝授くださいました。1923-24年度RI会長であったガイ・ガンディカーがまとめたロータリーの教習本(ロータリー通解)に沿って、クラブ奉仕の心髄を解りやすく説明して頂き「ロータリーは人づくり、クラブ例会で寛容精神を学び合い、互いに切磋琢磨する良き仲間となり、真なる親睦を深め合う家族愛から職場愛を広め、豊かな心になって世のため人のためを志す学びの場である」この言葉こそがクラブ奉仕の心髄だと納得出来ました。第2部のセミナーでは、参加者全体で自由に質疑応答の時間にして、有意義なロータリー談義を楽しみ合いました。第3部の親睦を深めた懇親会まで長時間になりましたが、地区内外から集まった仲間と真の親睦の和と輪が実感でき、ご指導を頂いた鈴木様のお蔭で、クラブ活性化への道筋を構築させるべき価値ある知識と情報を得るIMになりました。





第6グループ インターシティ・ミーティング報告「繋がろう」

第6グループ ガバナー補佐 手塚 節 (鋸南 RC)

第6グループのインターシティ・ミーティングは、2月19日月曜日に、鋸南町中央公民館多目的ホールにて、鶴沢ガバナーにもご参加を頂き、各クラブより82名の参加を頂きました。

近年、大きな自然災害の発生が多く見られます。コミュニティの大切さから、「繋がろう」をテーマに開催致しました。

プログラム1部で、元ハンダースのあご勇様による「今日も笑顔で」をテーマに、特別講演を頂きました。私と同じ年の彼は、10代で芸能界デビューをし、売れっ子から、プロダクション契約解除など、2度の挫折を繰り返し、現在は芸能の仕事の続けながら、お客様を笑顔に出来るバスツアーの添乗の仕事を見つけたそうです。人気だった頃の仲間との争いも、笑顔でコミュニケーションをとれば、昔の友との仲間も、再生出来るとの事でした。

プログラム2部では、グループで交わした災害時総合支援の覚書を育てる意味と、私が地震の時などに、応急危険度判定員として被災地に入る時などは、被災された方と同じ体育館などの避難所に入ります。その受付で起こる出来事が、今回行うHUGに似ている事から、グループの皆様にも共有したい思いで、避難所開設運営ゲーム「HUG」を行いました。

今回は、HUGに長けているローターアクトの皆さんや、鴨川RCの皆さんに協力を頂き、実際に房総半島沖で地震が発生したシチュエーションで、仮想停電から、ヘルメットをかぶりながらの演出で行なって頂きました。次から次へと来る避難者に対して、初めてチャレンジする会員は、戸惑ってましたが、徐々に力が入ったか、上着を脱いで前向きにチャレンジする会員などもあり、時間を追うごとに上手に捌けるようになりました。カード終了の後に話し合いの時間を設けて、8つのグループ全てに、まとめ発表を頂きました。発表では、老人やペットへの対応、災害物資の置き場など、果たして自分が行った誘導は正しいのか、反省点も含め、さまざまな意見がありました。発災直後の対応に正解はないと思います。避難所運営は自治体開設が多いのですが、近年は、地域住民や避難者が運営をされているところも多くなっています。皆さんで、コミュニティを育みながら協議して頂く事が大切に思います。

プログラム終了後には、直前ガバナー補佐、グループ幹事に、感謝状及び記念品を送り、次年度ガバナー補佐紹介をし、それぞれご挨拶を頂きました。

最後に、自クラブが少人数のクラブゆえ、準備から片付けまで、多くの皆様のお力添えを頂き、感謝申し上げます。ありがとうございました。



第7グループ Intercity Meeting 開催報告

第7グループ ガバナー補佐 諏訪 武士 (大多喜 RC)

2月20日(火)2023-24年度IMが「ロータリーを楽しもう!」をテーマに90名を超える参加者で開催されました。

講師にはロータリーの友特別顧問第2550地区PDG鈴木宏様を迎え、ロータリー黎明期から現在に至るまでのお話をロータリーの友掲載記事や掲載漫画などの話も交え解りやすくまた楽しくご講演いただき、質疑応答では建前のない正直な本音の回答で大変ありがたいものでした(ご本人の希望で具体例は差し控させていただきます)。また後半は次年度役員を紹介を次期AGより行い、グループの次年度体制を周知できたものと考えております。

終了後の懇親会でも、講師を交えて様々な意見交換がなされ、グループ内クラブの親睦を深め情報交換の場としても有用であったものと思います。



予算残金の能登半島地震寄付につきましてもIM中に皆様のご賛同をいただきました。

パンフレットの記載ミスでAGの挨拶がお詫びからになり、考えていた挨拶が頭から消し飛んだところから始まりましたが、皆様の寛容に甘えて何とか終了までたどり着いた感がございます。

ご講演いただきました鈴木PDG、ご参加いただきましたロータリアンの皆様に心からの感謝を申し上げます。

IMが終わり気付けば、AGの任務もあと3回のガバナー公式訪問とグループゴルフコンペを残すのみ、補佐訪問も年度の御礼行脚を残すのみとなりました。





第10グループ インターシティ・ミーティングのご報告

第10グループ ガバナー補佐 鈴木 孝 (白井 RC)

第10グループのインターシティ・ミーティングが、令和6年2月15日木曜日にホテルマイステイズプレミア成田において、100名を超える参加者を迎え、「エンゲージメントを育むために」というテーマで開催されました。

基調講演は、第2790地区の会員増強・退会防止委員会の委員長であります吉田理愛氏にお話をいただきました。「鶴沢ガバナーの地区テーマでの意味合いとしては、『ロータリーに対する愛着心や思い入れ、深い繋がり(信頼)をもった関係性、そして貢献したいという気持ち』と解釈しています。会員一人一人が自クラブを愛するには、クラブからも愛されることが必要です。愛し愛されることが重要で、一方通行の愛でエンゲージメントは育まれません。自身も地区幹事長を受けると決まってから、ロータリーのことを深く知るために様々な手段で取り組みました。不思議と色々な知識が増えていくと、ロータリーが面白くなっていくんですよ。愛って、まず相手のことをより良く知らないと言えない

です。ロータリー愛も同じです。すなわちDEIなんです。」相手のそれぞれの事情や意見を寛容な心で受け止めることだと、吉田氏は女性ならではの優しい口調でお話をいただき、感動された会員も多くいたのではないのでしょうか。

また「野球同好会の活動について」という演題で、成田コスモポリタンロータリークラブの会長エレクトである横山英樹氏にお話をいただきました。平成16年に野球部を創設しました。創設の理由は、リーグ優勝チームは甲子園に出場できるということからでした。平成20年に初優勝し、以来5度の優勝を果たし、リーグでは強豪チームとして知られています。野球はロータリー活動における信頼や親睦もチーム内だけでなく、他県のチームとも親交が深まり、会員増強・退会防止に役立っていると感じることが出来ました。「エンゲージメントを育むために」というテーマで大変貴重なお話をいただき、会員の皆様の今後のロータリーライフに少しでも参考になれば幸いです。



インターシティ・ミーティング ご報告

第11グループ ガバナー補佐 中山 浩一 (柏 RC)

RI第2790地区第11グループのインターシティ・ミーティングは寒郡茂樹ガバナーエレクト並びに時田清次ガバナーノミニーに卓話をお願いし2月14日ザ・クレストホテル柏にてグループ内ロータリアン112名が参加のもと開催いたしました。

IMのテーマは『ロータリーの未来を語りあおう』といたしました。

寒郡ガバナーエレクト「DEI文化を培う」ビジネスとロータリーのDEIとの切り口から始まりD・E・Iそれぞれの関連性をわかりやすくお話いただきました。また国際協議会の報告もいただきました。

時田ガバナーノミニー「奉仕の理念を育み、ロータリーを楽しもう。」

ロータリーの奉仕の理念と自己研鑽から見いだされたロータリーの友人の輪のすばらしさと戦略計画の成り立ちから2025-26年度を見据えたRIの戦略計画のことをわかりやすくお話いただきました。

第2部ではガバナーエレクト・ガバナーノミニー卓話でロータリーの未来を知り、未来の各クラブの中核となる会員の皆様に『ロータリーに入って良かったこと、残念に感じたこと』を忌憚のない意見として発言いただきました。

将来各クラブの中核となる会員からの発言は参加ロータリアンの入会当時を思い出されたものと思います。

IM終了後、寒郡ガバナーエレクト・時田ガバナーノミニーと各クラブ会長・会長エレクト・会長ノミニーの懇談会を開催しました。会長エレクト・ノミニーからは今から準備しておくべきことなど、具体的な質問もあり活気ある懇談会となりました。

「Three Years Rolling Target」

時田ガバナーノミニーから耳慣れない言葉をいただきましたが本年度初めに鶴沢ガバナーが提唱されたガバナー・ガバナーエレクト・ガバナーノミニーの継続性を一言に表現したものと改めて確認ができました。

コロナ禍明けに開催される情報研修会とIMが少しでも参加ロータリアンにとって有意義な時間であったと思っています。

最後に、お忙しい中卓話をいただいた寒郡ガバナーエレクト、時田ガバナーノミニーに改めて心より御礼申し上げます。





第13グループ IM 報告

第13グループ ガバナー補佐 鈴木 悦朗 (松戸北 RC)

第13グループのIMは、2月21日に南柏・日本閣で開催されました。午後4時から合同例会で各クラブの会長の活動報告の後、現在第1地域のRPICでかつ地区ラーニングファシリテーターの寺嶋哲生PGに「ロータリーが大切にすべきもの～歴史の変遷から考えるRIの提案」というテーマで45分ほどの講演をしていただきました。

その後、各テーブルに5クラブ同世代8名ないし9名の皆さんで、RLIのようなスタイルでロータリーについてのディスカッションを行っていただきました。

ディスカッションでは、ロータリークラブを元気にするには何が必要か、クラブは会員にどんな価値を提供できるか、ロータリークラブの地域社会における存在価値はどうすれば高まるか、各クラブの奉仕プロジェクトや親睦活動、DEIの現状について語り合っていました。

懇親会では、土屋亮平パストガバナーの乾杯から始まり、ジャズバンドの演奏も入って、5クラブのほとんどの皆さんが最後までお残りいただいたのではないかと思います。クラブの垣根を超えての親睦、飲食を共にしながら笑顔でいい感じで交流ができたのではないかと思います。

今回のインターシティ・ミーティング運営にあたり、老・壮・青、第13グループすべての会員に参加してほしい、最後まで残ってほしいと、会長・幹事会や公式訪問を通じて何回となく呼びかけていったせいも、各クラブのベテランのロータリアンから今年度入会した新人まで、第13グループのIMとしては最高の総勢142名のロータリアンに参加いただきまして感謝しております。エンゲージメントが感じられた一日でした。



鶴沢ガバナー



寺嶋地区ラーニングファシリテーター



基調講演の様子



懇親会の様子



第14グループ IM 報告

第14グループ ガバナー補佐 岩佐 祥一 (流山中央 RC)

第14グループのIMは2月4日(日)ビジネスホテル野田で流山市、野田市の5クラブより86名の参加をいただき、開催されました。

今年は5クラブ共通の課題である「会員増強」をテーマにさせていただきました。講師に地区の米山記念奨学委員会の森秀樹委員、米山記念奨学生の玄香花様(ホストクラブ:木更津東RC)ファワーズ ナウハル ムハマド様(ホストクラブ:成田コスモポリタンRC)をお迎えしました。テーマが「会員増強」で講師を米山関係にしたのは新入会員を勧誘するのにロータリーについて話せなくては始まらないので米山記念奨学会というロータリーの特徴的で未入会の方にもわかりやすい活動をまず会員に知ってもらおうという目的がありました。また、米山記念奨学会とあまりなじみや接点が少ないクラブが今後、ホスト

クラブになったり、関わりを深めることに繋げたいという思いもありました。

各クラブの提言発表では会長エレクトより「会員増強」についてクラブの現状をふまえた熱いメッセージが発信されました。次年度にかけの意気込みが感じられましたので会員全員の協力のもと会員増強に繋げていただきたいです。

今年はコロナ禍も収まったこともあり、懇親会も開催することができました。第14グループがIMで懇親会を開催するのは4年ぶりでした。久々の懇親会でしたが講師の3名も含めクラブを越えて親睦を深めることができました。

最後に開催に際してご協力いただきました米山記念奨学委員会、奨学生の皆様、第14グループの会員の皆様に感謝申し上げます。





RLI(ロータリーリーダーシップ研究会) パートシリーズの開幕

地区 RLI 推進委員会 委員長 清田 浩義 (千葉 RC)

2023-24年度RLIパートシリーズが、2月10日千葉市民会館にて始まりました。パートI当日は、鶴沢和広地区ガバナー、梶原等RLI地区代表委員にもお越しいたいただき、参加者43名、実行委員46名で、開催いたしました。

国際ロータリーでは、今年度参加者を活動の中心に据えることを求める行動計画の一環として、『研修モデル』から『ラーニングモデル』にアプローチを変えようとしています。

そうした考え方のもと、今までのRLIディスカッションリーダーは、呼称を『ファシリテーター』と改め、参加者のアイデアをより多く共有できるよう、そのスキルを今まで以上に磨いてゆくことに致しました。

今年度推進委員会が掲げるテーマは『より多くの皆様に楽しく参加していただけるRLI』です。そして『地区内で、まだRLIにご参加いただけていないクラブをゼロにしよう!』と頑張っています。

私は、RLIの魅力について『地区内外多くの

ロータリアンと出会えること』『それぞれのロータリアンの人柄(考え)に触れあえる事』『自身の中に新たな気づき(ロータリーや人生)が芽生えること』ではないかと思っています。

RLIは1992年元RI理事デビット・リンネット氏の提唱で始められた草の根活動です。今では世界の80%以上、そして国内でも90%近い地区で開催されています。国際ロータリーの基本プログラムでないRLIがこうして広がりをみせる理由は何でしょうか?

2010年に始まった第2790地区RLI活動も今年度で14年目になり、ご参加いただいたロータリアンは地区内外合わせ約600人を数えます。是非より多くの皆様にRLIの魅力を体感していただければ幸いです。





パキスタンにおけるポリオ経口ワクチン 投与活動のご報告

地区ロータリー財団統括委員会 委員長 漆原 摂子 (勝浦 RC)

2024年2月17日(土)～3泊5日の日程で、パキスタンのカラチ市にて、当地区の有志7名がポリオ経口ワクチン投与活動に参加致しました。きっかけは、梶原等ガバナー年度の地区幹事長を務められた、佐々木高治会員(千葉RC・会長エレクト)からのお誘いでした。佐々木会員は、昨年初めて他地区ロータリアンと共に、カラチにワクチン投与へ赴いたそうですが、投与の状況や現場の実情を知り、より多くの人に経験をしてもらう事で、ポリオ根絶への更なる理解や普及に繋がるとのお話を受けたものです。

現在野生株ポリオウイルスによる症例数は、昨年未でパキスタンとアフガニスタンに6症例ずつ、計12症例のみです。パキスタンでは、毎年700万～800万人の赤ちゃんが生まれますが、NID(National Immunization Days:ポリオワクチン全国一斉投与キャンペーン)を機に、5歳未満の子ども4,000万人以上への予防接種を目標としています。日本のロータリアンは、チームポリオジャパンという緩やかな任意の組織を組み、2018年から毎回10名前後の有志が、12月～3月の比較的涼しい時期にカラチに赴き、経口ワクチンを子ども達に投与して参りました。

2月17日(土)カラチ・ジンナー国際空港に22:00過ぎに到着、翌18日から活動スタートです。現地では、パ

キスタンのこの活動に永らく貢献されているロータリアン・永田雄治氏(米ウエストジョーダンRC)のアテンドで、中型バスに乗り込み各所を回ります。バスには、パキスタンポリオプラス委員会のプロジェクトマネージャーである、アシャー・アリ氏、通訳のバツティ氏も同乗、警察車両に先導され、カラチ市街の渋滞の中を移動します。まずは、カラチ郊外のミアプール・サクロという町の、大阪のロータリアンがグローバル補助金を利用して寄贈された浄水施設を視察。ご周知の通り、ポリオ根絶には清潔な水や適切な下水処理が伴わなければなりません。この施設は機器類の盗難を防ぐため、24時間体制で監視システムが取られています。その後徒歩10分程の小さな村を訪問。ここは、黒人系のパキスタン人により構成される村で、ちょうど訪問医師による様々な予防接種が子ども達に実施されていました。我々もポリオワクチン投与の機会をいただきました。投与を終えるとその証に、左手の小指の第一関節から上に、紫のマーカーで色を付けます。次には、水も電気もなく2,000人程の人が住まうコミュニティ、アラバクシ村を視察。どこに行ってもそうですが、子ども達や時には大人まで、物珍しそうに我々に近寄ってきます。午後は、高速道路脇の検問所での投与活動。ここでは2012年以来、現地のポリオワーカーが24時間365日、3交代制でワクチン投与を実施しています。1日1,000台のバスがこの検問所で不審者等



初日 浄水施設



初日 浄水施設
コーディネーター永田氏



初日 村で子ども達



初日 村で大倉先生



初日 アラバクシ村で



初日 高速道路バス



初日 高速道路 ポリオブース



初日 バス内投与

のチェックを受けますが、今回私たちはポリオワーカーと組んでバスに乗り込み、保護者の許可を得た上で、ワクチンを投与します。バスはすし詰め状態で、狭い通路に行くのも簡単ではありません。またバスは少しずつ移動しますので、揺れる車内での口内への投与も難しいものでした。宗教上の理由から、投与拒否をされることも度々ありましたが、この場所だけで毎年100万人の子どもたちへの投与が実施されています。

翌2日目、まずはカラチ市内のリソースセンターに赴き、ワクチン投与に来た子ども達に我々が投与。その後は、平均的なパキスタンの人々が住まうという、マリア・タウンという町に行き、学校の様子や町中を見学し、扉に記されたワクチン投与に関する情報の説明を受けます。平均的な町といっても、浄水・下水施設は見当たらず、ゴミは路上にそのまま放置、犬の死骸までもそのまま、常に異臭が漂う状況。警察に護衛されながら歩く我々に子ども達が近づこうとしますが、警察が追い払います。心が折れそうになる思いで一杯でした。その後は、市内の主要駅であるカントンメント駅に移動。こちらでも2007年より24時間365日体制で、現地のポリオワーカーが待機しており、停車している列車に乗り込み、あるいはホームに居る家族に尋ね、ワクチン投与を実施しています。我々もワーカーとタッグを組み、可能な限り投与を実施しました。

最終日、サイト・タウンという町へ移動し、現地のロータリアンが1998年に設立した学校へ行きました。不幸な事に、設立者であるロータリアンは、2013年にタリバンによりこの学校の前で手榴弾により殺されてしまったそうです。その後はそのロータリアンの兄が事

業を継承、現在では約300人の子どもが通学しています。ここの1部屋で、ポリオワーカーの教育が通年実施されており、ワーカー代表者に今回地区の皆様から寄贈された白衣の贈呈式を行いました。その後はワーカーと組み、町中の戸別訪問ワクチン投与です。この町はアフガニスタンからの移住者が多いとの事、ここでも常に警察の警備付きの活動でした。その後、ビル・ゲイツ氏がパキスタンに開設したりソースセンターを視察(ゲイツ氏はあと12ヶ所のクリニックを開設予定)、最後は、ガダップUCというテント村のコミュニティ内での戸別投与活動です。浄水・下水設備もなく、ゴミが散乱し、かろうじて屋根が覆われ、暑く乾燥したテント村の中をチームに分かれて投与作業を実施。終わってバスに戻り、ペットボトルの水を飲む自分に、何とも言い難い思いがあるまま、最終日の全行程を終え、帰途に着きました。

日本政府は本年1月24日、パキスタンにおけるポリオ根絶事業支援のため、UNICEFに5億1,600万円の無償資金協力を発表しました。ロータリーも、UNICEF・WHO・ゲイツ財団等と同じGPEI(世界ポリオ根絶推進活動)のメンバーであります。汚染水を介して感染するポリオウイルスの根絶には、ただワクチン投与のみならず、水と衛生・地域経済の発展・基本的教育…といった7つの重点分野の項目を併せて整備する事、そしてそのための、国や官民を超えた他団体とのパートナーシップによる物心両面での支援が必須であると、改めて感じた次第です。



初日 バス前でワーカーと



2日目 リソースセンター前 警備



2日目 マリアタウン学校



2日目 マリアタウン 町中



2日目 駅構内にて



2日目 駅でのワーカー



2日目 駅ホームで



2日目 駅構内にてワーカーと

参加者レポート



時田 清次 (市原中央 RC)

パキスタンポリオワクチン投与活動に参加して、ポリオワーカーの実態を知ることができたことが大きかったと思います。ポ

リオワーカーは研修を受けて三交代で24時間活動しています。市民との信頼関係を繋ぎ地道な努力をしています。私達はポリオワーカーを励ましてそれぞれの役割で根絶に向かっていく必要があります。



大倉 崇 (市原中央 RC)

念願の現地での活動と現況を見ることが出来たことについて関係者に感謝を申し上げます。

り、市外部ではワーカー達が個々の子供たちを把握しワクチンを投与しています。地域免疫のワクチン接種率は60-70%に達し、アフガニスタンでもワクチン投与が行われており、世界のポリオ根絶に近づいていることが期待されます。

子供達の母子手帳に予防接種の記録がされてお



長井 弘亘 (市川南 RC)

WHOが世界ポリオ根絶計画を開始した1988年当時は、125カ国以上の国々で毎年35万人以上のポリオ患者が発生

際的なプロジェクトが実ったことは、人口が多い国でも迅速なサーベイランスとワクチン一斉投与をすればポリオを排除できる可能性が高まることを証明しています。

していたと報告されていました。ワクチン普及活動などが積極的に対策されたことにより、2014年には患者数359人まで減少しましたが、地域固有の野生株ポリオウイルスの流行がいまだに継続しているポリオ常在国は、パキスタン、アフガニスタンの2カ国です。

そこで念願のパキスタン渡航が叶い、多く子供たちにポリオワクチンの投与を行わせていただきました。ひとりでも多くの子供が救われるように願います。

世界最大の人口を擁する中国やインドにおいて国

今後も、私たちロータリアンは、ポリオを天然痘に次ぐ根絶された感染症とするため、世界各国が足並みをそろえて進むことを推奨していきます。



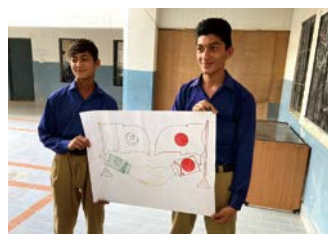
向後 勝弘 (千葉 RC)

何か手助けをしたいという希望を持って、治安が心配だという家族の反対を押し切ってワクチン投与に参加してきました。

思っていた以上に貧富の差が激しく、一般の生活地域だと案内された町でさえ、町中にゴミが散乱し、悪臭が鼻をつく中、ハエの襲来にもめげず、ワクチン投与を行ってきました。子供たちの笑顔に救われました。



2日目 駅脇の浄水設備



最終日 学校にて歓迎



最終日 学校での歓迎



最終日 白衣贈呈式



浅野 賢一 (千葉若潮 RC)

約50～60人へポリオワクチンの投与をしました。私達が訪ねた所は、想像を絶する貧困生活をしていたましたが、白衣を提

供していただいた人への感謝を考え、一人一人へワクチンを届けて参りました。ポリオ根絶を胸に奮闘して参りました。他にも衛生面などにも力を入れなければと考えます。貴重な体験を有難う御座いました。



パキスタンにおけるポリオ経口ワクチン投与活動に参加して 佐々木 高治 (千葉 RC)

パキスタンへの訪問は昨年続き2度目です。今回は鶴沢ガバナーに相談し、第2790地区で有志を募りツアーを企画しました。漆原PDG(勝浦RC)団長の先導のもと、7人のメンバーが集い、3日間にわたってワクチン接種活動に取り組みました。

「ポリオ根絶まであと少し」という呼び声に呼応して、ロータリアンは支援していますが、百聞は一見にしかず、実際に現地を訪れると、根絶までまだ道半ばであり、パキスタンが抱える問題が明らかになります。パキスタンが国を挙げて、WHO、ユニセフ、ロータリーク

ラブの支援を受け、ポリオ根絶に取り組んでいる姿勢と努力には敬服しています。

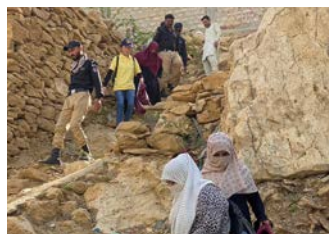
訪問先で気になったのは環境問題です。捨てられたままのごみの山や、湧き水を浄化せずに直接飲み水としている村の人々、そして多くの子供たちが教育を受けられていない現状が目につきました。これらの課題がポリオ根絶の障壁になっていると考えられます。我々ロータリアンは根絶まで支援を継続し、手を緩めることなく取り組まなければならないと痛感しています。

パキスタン渡航に際し、白衣寄贈をありがとうございました(順不同)。

周藤 行則様(浦安) 野池 尚美様(佐倉中央) 木村 健二様(松戸) 村上 奈美様(野田)
伊藤 正人様(鴨川) 中西 秀治様(習志野中央) 飯島 俊一様(袖ヶ浦) 大倉 崇様(市原中央)
岡村 廣志様(松戸中央) 石井 忠様(船橋西) 佐藤 博章様(船橋西) 田代 充様(八千代中央)
鳥取 秀郎様(君津)



最終日 贈呈した白衣を着用



最終日 サイトタウンでの戸別訪問



最終日 サイトタウンでの投与活動



最終日 サイトタウン投与



最終日 テント村



最終日 テント村



最終日 テント村での投与



最終日 アリさんへ皆から御礼を

青少年と一緒に奉仕作業！「THE・SYOKURIN」の報告

成田 RC 幹事 浅野 正博

2024年2月10日に成田ロータリークラブ・成田コスモポリタンロータリークラブ・成田高校インターアクトクラブとの共催で植林奉仕作業を行いました。

場所は千葉県印旛郡芝山町にある春日神社で、2019年の台風により倒木などの大きな被害に見舞われた場所です。今回、地元住民に親しまれている鎮守の森の再生を行おうと、2クラブ合同+インターアクトクラブとの合同で植林奉仕作業を企画しました。

開催日も、なるべく多くのインターアクトメンバーが参加出来るよう、植林の時期と高校生のスケジュールを調整し、成田高校インターアクトクラブを含めた成田高校生とロータリアン、春日神社総代役員様、総勢114名と多くの方々にご参加いただく事が出来ました。

当日は、森林が地球にとってどのような役割を果たしているか?など環境の大切さを千葉県緑化推進委員会事務局次長の飯田様にご講演頂き、その後、春日神社に安全に作業できるよう参拝し、

木の植え方を説明して実際に木の苗を植えていきました。最初は慣れず戸惑っていましたが、皆で協力しあいだんだんとコツが分かってきたのか?約200本もの苗木を時間内に植えることが出来ました。また、地元成田市のケーブルテレビや、芝山町の広報課の方々も取材でお見えになり、ロータリーにとっても良いPRになった事と思います。

今回の植林奉仕作業を通じて、森林の果たす役割を再認識し環境について考える良い機会となった事、そして同年代のインターアクトクラブメンバーが地域の奉仕作業を率先して行う姿を見て、私もやりたい!インターアクトクラブに入りたいという声を実際に聞くことが出来ました。コロナで活動が思うようにできなかった4年間でしたが、子供たちの笑顔で奉仕作業する姿を見て、インターアクトクラブの必要性和ロータリーの素晴らしさを感じる事が出来た1日でした。関係する皆様に感謝申し上げ、ご報告といたします。





My ROTARY 登録状況報告 (2024年3月15日現在)

My ROTARY 登録推進委員会 委員長 池田勝之 (千葉 RC)

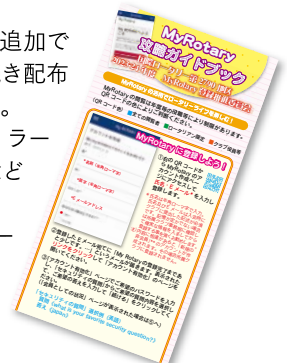
約 50%

My ROTARY 登録推進委員会より 3月15日現在の各クラブの登録率をご報告申し上げます。皆様のご協力により、登録率が5月33%、7月36%、9月41%、11月45%、3月49%となり順調に向上しております。年度初めの調査以降、登録にご協力いただいている結果が顕著に現れており、特に年度当初は登録率50%以上のクラブは13クラブでしたが、3月現在34クラブとなりました。各グループのガバナー補佐及び各クラブ会長・関係者の方々に深く感謝申し上げます。引き続き年度末の60%達成に向けてご協力お願い申し上げます。

グループ	クラブ名	会員数	登録者数	登録率 (%)
第1グループ	市川	39	12	30.77%
	市川東	35	5	14.29%
	市川南	21	6	28.57%
	浦安	29	13	44.83%
	市川シビック	27	2	7.41%
	浦安ベイ	16	10	62.50%
平均				31.39%
第2グループ	船橋	27	12	44.44%
	船橋西	23	9	39.13%
	鎌ヶ谷	29	6	20.69%
	船橋東	22	8	36.36%
	船橋みなと	14	5	35.71%
平均				39.11%
第3グループ	千葉	124	124	100.00%
	新千葉	57	57	100.00%
	千葉西	44	44	100.00%
	千葉中央	25	25	100.00%
	千葉幕張	30	30	100.00%
	千葉東	24	24	100.00%
	千葉若潮	32	32	100.00%
平均				100.00%
第4グループ	千葉南	56	20	35.71%
	市原	78	23	29.49%
	千葉港	25	13	52.00%
	市原中央	34	13	38.24%
	千葉北	26	26	100.00%
	千葉緑	23	9	39.13%
平均				49.09%
第5グループ	木更津	25	5	20.00%
	上総	16	16	100.00%
	富津中央	37	12	32.43%
	木更津東	44	26	59.09%
	君津	56	56	100.00%
	袖ヶ浦	22	11	50.00%
富津シティ	16	9	56.25%	
平均				59.68%
第6グループ	館山	46	11	23.91%
	鴨川	28	14	50.00%
	勝浦	37	21	56.76%
	千倉	8	1	12.50%
	鋸南	14	9	64.29%
	館山ベイ	27	8	29.63%
平均				39.51%
第7グループ	茂原	55	18	32.73%
	東金	26	9	34.62%
	大原	10	10	100.00%
	大多喜	8	4	50.00%
	成田空港南	23	8	34.78%
	茂原中央	26	13	50.00%
	大網	31	16	51.61%
東金ビュー	10	9	90.00%	
平均				55.47%

グループ	クラブ名	会員数	登録者数	登録率 (%)
第8グループ	銚子	33	12	36.36%
	旭	37	8	21.62%
	八日市場	35	13	37.14%
	銚子東	28	2	7.14%
	平均			25.57%
第9グループ	佐原	45	12	26.67%
	多古	17	13	76.47%
	小見川	24	11	45.83%
	佐原香取	22	10	45.45%
平均				48.61%
第10グループ	成田	70	24	34.29%
	八街	23	16	69.57%
	印西	8	3	37.50%
	白井	13	7	53.85%
	富里	35	7	20.00%
	成田コスモポリタン	70	36	51.43%
平均				44.44%
第11グループ	柏	60	18	30.00%
	我孫子	33	14	42.42%
	柏西	53	27	50.94%
	柏東	29	6	20.69%
	柏南	29	16	55.17%
平均				39.85%
第12グループ	習志野	28	12	42.86%
	八千代	54	54	100.00%
	佐倉	41	33	80.49%
	八千代中央	21	5	23.81%
	四街道	29	8	27.59%
	習志野中央	47	24	51.06%
	佐倉中央	13	8	61.54%
平均				55.33%
第13グループ	松戸	57	15	26.32%
	松戸東	44	11	25.00%
	松戸北	37	14	37.84%
	松戸中央	37	9	24.32%
	松戸西	26	12	46.15%
	平均			31.55%
第14グループ	野田	65	22	33.85%
	流山	18	9	50.00%
	野田東	14	5	35.71%
	流山中央	20	7	35.00%
	野田セントラル	21	7	33.33%
	平均			37.58%

「My ROTARY 攻略ガイドブック」を追加ご希望のクラブやメンバーには引き続き配布しておりますので是非ご活用ください。My ROTARYの登録方法をはじめ、ラーニングセンターやロータリーの歴史などMy ROTARYの活用方法が満載！各情報に直接アクセスできるQRコードも掲載しています。





2013-14 年度 ガバナー回顧録

2013-14 年度 ガバナー 関口 徳雄 (浦安 RC)

1. この頃は当地区ではガバナーの成り手がなく、ガバナー指名委員会泣かせであったとのこと。指名委員会でこれぞと思った人物がいたら、いろんな手づるを使ってあの手この手で口説き落とすのですが、それでも落ちないと嘆いていた指名委員長がいました。

昨今では、数年にわたってガバナーノミニデーデジグネットまで決まっっていて、故渡辺好政元RI理事が、地区大会でRI会長代理として講演された時に感心しておりました。まさに隔世の感があります。後で触れますが、その原因の多くは地区事務所の存否に支配されていたようです。

さて私の場合はどうかですが、私も例外なくガバナー年度の4~5年前から指名委員会の中で候補に挙がっていたようで、逃げまわっていました。地区大会や3大セミナーなどに出席した時など、顔見知りのPDGとすれ違う時など下を向いて目を合わせないようにしたものでした。

故渡辺PDGや故山中PDGそして杉木PDGには随分と不愉快な思いをさせたことを幾重にもお詫びしたいと思います。弁護士としての大先輩であった渡辺PDGは川柳の仲間でもあり、習志野RCでありながら浦安RCの川柳同好会(会長、関口)に所属して活躍され、山中PDGは私が第1分区代理を務めさせて頂いた時のガバナーでありましたので、せっかくのお誘いには申し訳ない気持ちで一杯でした。

結局最終的に4~5年にわたるガバナー狩りのバトルに私は負けました。大学の先輩であるこの方に、理詰めで優しく外堀そしてジワリと内堀を埋められ、身動きができない状態の中でイエスと言わされました。しかし今では私の人生の中で誇りとなる大きな宝物を頂いたと、この方即ち杉木PDGには足を向けて寝られないほどに感謝しています。

2. 私自身、ロータリー歴は長いのですが、ガバナーになるまでロータリーの勉強を統一的かつ真髓に迫るような勉強をしたことはなく、山中年度に分区代理として参加した時、恥をかかない程度に少しだけロー

タリーを勉強しただけで、委員として参加したこともなく、せいぜい地区野球リーグの浦安RCのメンバーとして他クラブの会員と接触したくらいでした。最もGノミニ直前に地区野球リーグの会長を仰せつかり、同リーグの規約会則を起案作成したことは、懐かしい思い出となっております。

3. GEになった2012年7月からロータリーをより積極的に勉強するようになり、おぼろげながらロータリーの奉仕の理念がわかりかけてきました。特に職業奉仕にかかる理論に接したときは、興奮して眠れないほどでした。しかしながら、翌年1月サンディエゴでの国際協議会に出席し、RIの方針や世界のロータリアンが向いている方向を知った時、違和感を覚えたばかりか、日本人が考えていたロータリー観と世界のロータリーのそれとの明確な乖離に驚愕した次第でした。とりわけ職業奉仕の位置づけの軽さには、正直驚きました。

研修と称するあのホテルでの約1週間の缶詰の間、職業奉仕がレクチャーされた時間はなかったに等しいものでした。ほとんどが財団の寄付集めと事業に成功した自慢話ばかりでした。

帰りの飛行機の中で、日本のロータリーは、良し悪しはともかく、このままではいつか取り残されるのではないかと思いました。

4. さような経験を経て、三大セミナーを乗り切り、ガバナーとして84クラブの公式訪問をスタートしたのですが、何か腰の据わりの悪い出足だったような気がします。私はガバナーとして二枚舌を使っていたような気がするからです。何故ならガバナーは理事会の一般的な指揮監督のもとに職務を行うその地区におけるRIの役員ですから、RIの方針をクラブに伝え指導するのが第一の職務であります。この時代RIは地区のDLPに対応すべく、クラブにCLPを実行させようとして躍起になっていました。ところが我が地区のほとんどのクラブはCLPを取り入れようとせず、クラブの自治権を盾に拒否していました。私自身クラブの自治権は当然だと思っていましたので、クラブの自主的な判断を尊重し、特にCLPを取り入れるよう指導は全くし

ませんでした。また事あるごとにRIの財団化にも反対しました。さらに職業奉仕の位置づけの考え方については、世界の動向やRIの方針など一切無視し、職業奉仕こそ我々ロータリアンを正しく導く北極星だと言いまくりました。これではRIの役員でありながらRIを批判してるようなものだからです。(銀行の支店長が頭取の方針に反対したらどうなるか?)。

5. <職業奉仕についての私見と心残り>

私の職業奉仕に対する考え方は、エレクト、ガバナー時代一貫して職業奉仕重視論者でありました。しかしそうは言いながら、一方で、私は国際協議会以後の情報を通じて、RIの方針や世界のロータリーの流れの大きさを知った時から、日本人が好む「職業奉仕」が、ロータリーの世界から消え去るのではないかと危惧しておりました。

それは、もともと職業奉仕は地味な奉仕活動ですが、RIが1985年から、ポリオ・プラスをRIの公式な最大目標とし、人道的奉仕活動の名のもと、ロータリーの奉仕活動を、R財団の補助金活動に軸足を移した時から、個人奉仕を理念とするロータリーの奉仕活動の性格が団体奉仕に変容し、ロータリーが一大寄付団体ないしボランティア団体と化したからです。

私はロータリーの奉仕活動の原点ないし基本は今でも職業奉仕にあると考えています。ロータリーの目的の解釈からもそう読めます。

つまりロータリーは職業奉仕を中心とした奉仕する職業人たちの集まりなのです。ロータリーが今日発展を見たのは、他の奉仕団体にはない、地味ではありますが、燻し銀の如く光を放つ職業奉仕を大事に育ててきたからです。

さような思いを持ちつつ、公式訪問を続けていた2013年10月のある日、当時のロンバートンRI会長が、私どもガバナーに対し、「職業奉仕を考える」と題してメッセージを寄せ、「10月は職業奉仕を思い出すための月です」から始まり「ロータリアンの中には忘れられた領域の奉仕と呼ぶ人もいますが～」とまで言い出したのです。私はこのメッセージにショックを受けました、思い出す月とは何事かと、一方で「さもありません」とも思い、RIや世界のロータリーの趨勢や方向がもはや動かせないところまで来たと理解しました。ですから私がガバナーエレクト時代に、将来「職業奉仕」

はRIのプログラムから消えてゆくのではと訴えたのは、荒唐無稽ではなかったのです。(地区協議会の冊子に記載)

さような背景を踏まえ、RIのプログラムからなくなるとの思いから地区協議会で、職業奉仕の位置づけと題し、職業奉仕は奉仕活動ではなく、「職業を通じた自己研鑽委員会」とでもすべきと極論を述べた次第であります。何故ならもともと職業奉仕は奉仕というより、ロータリアンの個人的な倫理道徳心の向上を目指すのが本願であって、究極は商道徳の確立にあるからです。委員会の構成が無理だとしたら「職業倫理観」として別枠の奉仕の理念ないしモットーとして掲げたらどうかと思う。即ち「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」「超我の奉仕」そして「職業倫理観」として三つの「奉仕の理念」ないし「モットー」として。規定審議会に提案したらどうか?

さすれば職業奉仕はRIのプログラムから消え去ろうと、理念として生き残れるのではないかと思うのであります。

6. <地区事務所固定化の願い>

前述したごとく我が地区ではガバナーの成り手がなく、クラブからの推薦もなくこれはという人物がいなくても逃げられ、それを追いかけてまわして、何とかお願いするという時期が何年もありました。その原因の一つは、ガバナー事務所立ち上げの際の物心両面における負担にあると思っていました。

私の当時のガバナー月信12号、(6月最終号)で、「私に一つ提案があります」との書き出しで、同期のガバナーの中で地区事務所があるのが、過半数を超えている事実とガバナー事務所設置の利点を縷々述べて、事務所の固定化を訴えました。これに対し一部のPDGから、「私たちがやってきたことをなぜ踏襲できないのか」「地理的に便利なところにガバナーが集中する弊害」を指摘されましたが、次の宇佐見ガバナーの決断により、当該年度から地区事務所の固定化を図ることができ、我が地区も現ガバナーとガバナーエレクトの物心両面における連携が奏功し、ガバナーを容易に輩出することができるようになりました。

ガバナー公式訪問

クラブ紹介

松戸東 RC 市川東 RC 成田コスモポリタン RC 千葉中央 RC 船橋西 RC 流山 RC
流山中央 RC 千葉北 RC 大原 RC 千葉西 RC 佐倉中央 RC 鎌ヶ谷 RC 成田 RC 旭 RC

松戸東ロータリークラブ 2/2



当クラブは1970年6月26日に創立され、現在42名の会員が在籍しております。60歳以下の会員が28

名と比較的若い会員が多く、クラブ活動は活気に満ち溢れています。ロータリー経験の浅い会員が多数おりますが、先輩方にご指導頂きながら、共に奉仕活動の実践や会員相互の親睦活動に取り組んでおります。(会長 石田庄一郎)

市川東ロータリークラブ 2/6



当クラブは昨年55周年を迎えました。会員数は35名です。本年度は「伝統を踏まえてチャレンジ！」を

クラブ基本方針として、従来から取り組んでいる薬物乱用防止キャンペーンなどの奉仕活動に加え、地域の少年サッカー大会への支援など新たな奉仕活動にもチャレンジしています。(会長 黒田和宏)

成田コスモポリタンロータリークラブ 2/7



当クラブは、昨年30周年を迎えました。親睦が中心のクラブではありますが、充実した例会運営と奉仕活動も活発に行っています。本年度、クラブの

目標は「みんなで参画しよう“楽しいクラブ”」としました。参加するだけでなく、企画・立案・参画をして会員相互の理解のもと実行し、次世代へと繋いでいきます。(会長 田中英之)

千葉中央ロータリークラブ 2/8



千葉中央ロータリークラブの特徴は、和気あいあいとした仲良しクラブであります。最高齢のチャーターメンバーで1月に満100歳を迎えた

植草名誉会員をはじめ、23名のクラブ構成です。私も2回目の会長ですが、テーマを「原点回帰」サブテーマを「改革・変革」とさせていただきます。仲良しクラブの中にあっても、例会に出席するのが楽しみになるようなクラブを目指したいものです。(会長 松本俊英)

船橋西ロータリークラブ 2/9



船橋西ロータリークラブは昨年55周年を迎えました。“自由闊達な風土、新しい発想で挑戦

する品格あるクラブ”をビジョンとして掲げ、創立以来熱心に奉仕活動を続けてきました。これからも地域やそこに住む人々に役立つ活動を続けていきます。～活気溢れるロータリー活動を皆が楽しみながら～(会長 前田昌男)

流山ロータリークラブ 2/13



私たちのクラブは、現在会員数18名と少人数クラブですが、笑顔が多く笑いが絶えない楽しい

クラブです。会員増強するにもまずは「会員が楽しむこと」。そこから会員増強や、小学校低学年の児童を対象とした「交通安全教室」といったロータリー活動に繋がればと活動しています。(会長 宮崎忠敬)

流山中央ロータリークラブ 2/13



流山中央ロータリークラブは会員相互の親睦を第一義にしております。心の許せる仲間ばかりなので和気あいあいの中で情報交換等をしながら信頼を深めて活動をしています。懇親会ではお酒好きが多く楽しい宴席なので二次会まで参加するメンバーがとても多いのも特徴です。(会長 池田健太郎)

大原ロータリークラブ 2/15



一言で表すならば「ストロングスタイル」という言葉が似合うクラブです。ロータリーの基本原理からブレることなく、義務や各方面からの推奨事項に真正面から取り組んでおります。毎週、笑顔の絶えない例会風景。立場や年齢を超えた友情が存在し、フラットな視線を取り戻せる大切な場です。(会長 浅野吉朗)

佐倉中央ロータリークラブ 2/21



佐倉市で初めてのストリートピアノを寄贈、そして市民の交流の場となったストリートピアノを利用しチャリティーイベントを開催しました。また国際大会への会員参加率は7割、地区内のみならず世界中のロータリアンとの交流を深めようと積極的な会員が多く、奉仕と親睦の両輪バランスの良いクラブです。(会長 齋藤初美)

成田ロータリークラブ 3/1



当クラブは会員70名を超え、ロータリーの知識が豊富な先輩会員がたくさん在籍しておられます。何かわからないことなどあれば自クラブの中でほとんど解決できるのではないのでしょうか。楽しむときは楽しむ、学ぶときは学ぶ、メリハリの利いた成田クラブを宜しくお願い致します。(会長 甲田直弘)

千葉北ロータリークラブ 2/14



【千葉北のここがイイ3連発!】比較的年齢層が若く、ワイワイした雰囲気!かといってベテランと若手の距離があるということは全くなく、ベテランの皆さんは気さくに接して下さります!人数が少ないながらも、積極的に事業を行っています!今年度も新しい事業が1つスタートしました!これからも楽しいロータリーライフを送りたいと思います(*^^)v (会長 吉田武司)

千葉西ロータリークラブ 2/20



今年度のテーマは「進化」になります。各委員会にクラブフォーラムを担当していただき、昨今、私たちを取り巻く環境がかなり変わっている中、これまでの活動がその変化に対応ができてきているのか、地域にとって最善の奉仕となっているか、会員全員で話し合い、2年後の50周年に向けて「進化」していきたいと考えております。(会長 渡邊岳仁)

鎌ヶ谷ロータリークラブ 2/22



当クラブは昨年の50周年の周年事業等賑やかにを行い、鎌ヶ谷市役所敷地内での阿波踊りはYouTubeでも紹介され会員29名の若さあるクラブです。青少年育成に特に力を入れ51年目の本年はウクライナからの避難民家族「鎌ヶ谷市受け入れ」に人道的生活支援の寄附、鎌ヶ谷市に平和施策推進の為の寄附を行い平和の桜を植樹しました。(会長 大澤茂)

旭ロータリークラブ 3/5



当クラブは私が初の女性会長ということもあり、今年度は「笑顔で例会に出席しましょう!」をテーマとしDEIを大切に活動しています。また、先輩達から受け継いだDNAを大切に、同好会活動(ゴルフ、野球等)も活発で世代を超えた仲間意識が高いクラブです。これからも柔軟で寛容な旭ロータリークラブらしい活動を続けてまいります。(会長 小川恵子)

国際ロータリー 第2790地区 2023-24年度 主要行事日程表

2024/3/6現在

日付	曜日	名称	時間	会場
4月6日	土	RLIパートⅢ	9:10~17:00	千葉市民会館
4月14日	日	青少年交換第5回オリエンテーション	13:30~17:00	千葉市文化センター
4月20日	土	千葉南RC創立60周年記念式典	17:00 点鐘	オークラ千葉ホテル
4月27日~28日		RAC2023-24年度 第35回関東ブロック研修会	4/27 13:00~18:00 4/28 13:00~17:00	千葉経済大学
5月9日	木	インターアクト指導者講習会 成田		成田高等学校
5月11日~12日		第27回日本青少年交換研究会 山形会議		天童市 市民文化会館
5月11日	土	RLI卒後コース	13:10~17:00	千葉市民会館
5月16日	木	千葉若潮RC創立25周年記念例会	18:00~	ホテルニューオータニ幕張
5月19日	日	青少年交換第6回オリエンテーション	13:30~17:00	サンプラザ市原
5月21日	火	富里RC創立40周年記念式典	17:00~	インターナショナルリゾートホテル 湯楽城
5月25日~29日		国際大会		シンガポール
5月25日	土	千葉ナイト	18:00~20:00	ザ・フラトンベイホテル クリフォードピア
6月8日	土	RLI ファシリテーター養成コース	13:10~17:00	千葉市民会館
6月8日~9日		第16回全国RYLA研究会 福島会議		磐梯熱海温泉ホテル華の湯
6月13日	木	市原RC60周年記念式典	15:00~	京成ホテル ミラマーレ
6月15日~16日		第11回全国インターアクト研究会		
6月21日	金	フェアウエルパーティ	17:30~20:00	ホテル ザ・マンハッタン
6月23日	日	青少年交換派遣認証書授与式	16:00~19:00	三井ガーデンホテル千葉

2024-25寒郡年度3大セミナー日程表

日付	曜日	名称	時間	会場
2月24日	土	地区チーム研修セミナー	13:00~19:00	ホテル ザ・マンハッタン
3月16日	土	会長エレクト研修セミナー	10:00~19:00	ホテル ザ・マンハッタン
4月29日	月祝	地区研修・協議会	10:00~16:00	T K P 東京ベイ幕張ホール

寄付者紹介(敬称略)

ロータリー財団寄付

メジャードナー(財団)



遠藤 章雄
(八千代RC)



佐野 忠信
(八千代RC)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



金親 博榮
(千葉南RC)
8回



遠藤 博一
(野田東RC)
6回



小林 裕治
(木更津東RC)
5回



林 剛史
(野田東RC)
5回



大塚 裕正
(千葉南RC)
4回



宮本 和夫
(千葉幕張RC)
3回



稲山 雅治
(八千代RC)
1回

新ポール・ハリス・フェロー



荒井 正晴
(市川南RC)



林 孝二郎
(木更津東RC)



秋元 ゆかり
(君津RC)



林 利夫
(旭RC)

ポリオ・プラス



水澤 伸浩
(市原RC)



諸岡 市郎左衛門
(成田RC)

年次基金シェア



水澤 伸浩
(市原RC)

恒久基金シェア



石井 亮介
(市原RC)

米山功労者



吉田 裕成
(千葉南RC)
17回



三枝 巖
(茂原RC)
11回



上野 聡
(市原RC)
10回



石引 美貴
(市川南RC)
5回



百瀬 隆行
(市川南RC)
2回



松倉 勉
(市川南RC)
2回



佐藤 直子
(銚子RC)
2回



鈴木 均
(習志野RC)
2回



荒井 正晴
(市川南RC)
1回



水澤 伸浩
(市原RC)
1回

新ロータリアン(敬称略)



時田 信義
(市原RC)
運輸、倉庫業
9月7日



井上 憲一
(千葉中央RC)
建設業
1月11日



安田 貴博
(市原中央RC)
私立学校幼稚園
1月23日



岩丸 祐介
(鎌ヶ谷RC)
歯科医
2月1日



西山 健一
(松戸中央RC)
飲食業
2月1日



津田 望
(富津中央RC)
社会福祉施設
2月2日



加藤 雄一
(船橋RC)
旅行業
2月5日



新田 昌広
(千葉コネクトRSC)
スポーツ施設
2月5日



遠藤 保匡
(千葉コネクトRSC)
空調設備
2月5日

物故会員(敬称略)



岡野 祐
(君津RC)

逝去日:2024年2月3日(享年58歳)
ロータリー歴:2021-22 クラブ会長



高橋 宏明
(銚子RC)

逝去日:2024年2月1日(享年54歳)

国際ロータリー第2790地区(千葉)出席・会員数報告(2024年1月末分)

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				2023 7/1との増減
				男性	女性	その他	合計	
第1グループ	市川	100.00	3	34	4	0	38	△2
	市川東	100.00	3	33	2	0	35	0
	市川南	89.50	4	19	2	0	21	2
	浦安	83.00	2	28	1	0	29	△4
	市川シビック	85.75	3	27	0	0	27	△1
	浦安ベイ	80.00	3	15	3	0	18	△2
	平均	89.71	3.00	26.00	2.00	0.00	28.00	△7
第2グループ	船橋西	97.53	3	26	0	0	26	△1
	船橋橋	86.36	3	19	4	0	23	0
	鎌ヶ谷	62.92	3	27	1	0	28	1
	船橋東	78.17	3	20	2	0	22	0
	船橋南	81.82	4	10	2	0	12	0
	船橋みなと	92.30	2	12	2	0	14	0
	平均	83.18	3.00	19.00	1.83	0.00	20.83	0
第3グループ	千葉	74.22	3	108	5	0	113	5
	千葉コネクトRSC	100.00	1	11	0	0	11	1
	新千葉	59.06	3	57	0	0	57	2
	千葉西	80.75	4	37	7	0	44	1
	千葉中央	89.97	3	23	2	0	25	2
	千葉幕張	77.50	4	26	4	0	30	△1
	千葉東	76.43	2	22	2	0	24	1
	千葉若潮	73.08	2	31	1	0	32	0
	千葉マリンRAC	-	-	1	5	0	6	2
	平均	78.88	2.75	35.11	2.89	0.00	38.00	13
第4グループ	千葉南	78.82	3	52	4	0	56	5
	市原	52.74	2	74	4	0	78	4
	千葉港	66.67	2	19	6	0	25	2
	市原中央	75.24	4	33	1	0	34	1
	千葉北	80.77	4	22	4	0	26	△2
	千葉緑	83.33	2	21	2	0	23	0
	市原中央RAC	-	-	3	6	0	9	1
平均	72.93	2.83	32.00	3.86	0.00	35.86	11	
第5グループ	木更津	89.30	3	20	5	0	25	0
	上総	56.25	4	16	0	0	16	0
	富津中央	82.69	3	29	6	0	35	5
	木更津東	65.65	4	39	5	0	44	△1
	君津	71.84	3	52	6	0	58	△1
	袖ヶ浦	88.87	3	20	2	0	22	1
	富津シティ	66.70	3	14	2	0	16	0
平均	74.47	3.29	27.14	3.71	0.00	30.86	4	
第6グループ	館山	76.83	4	43	3	0	46	0
	鴨川	71.53	4	25	3	0	28	△1
	勝浦	97.29	4	34	3	0	37	2
	千倉	37.50	1	6	2	0	8	2
	鋸南	71.42	2	13	1	0	14	0
	館山ベイ	55.13	3	27	0	0	27	△2
	鴨川RAC	-	-	3	3	0	6	0
平均	68.28	3.00	21.57	2.14	0.00	23.71	1	
第7グループ	茂原	85.10	3	52	4	0	56	3
	東金	68.70	2	22	3	0	25	1
	大原	85.30	3	9	1	0	10	△1
	大多喜	62.50	2	7	1	0	8	0
	成田空港南	65.56	3	24	0	0	24	△2
	茂原中央	87.19	4	22	4	0	26	1
	大網	82.22	3	28	2	0	30	1
東金ビュー	75.00	3	9	1	0	10	0	
平均	76.45	2.88	21.63	2.00	0.00	23.63	3	

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				2023 7/1との増減
				男性	女性	その他	合計	
第8グループ	銚子	85.32	4	31	2	0	33	△2
	旭	64.60	3	33	3	0	36	△1
	八日市場	57.83	3	32	3	0	35	0
	銚子東	83.75	4	25	2	0	27	1
	千葉科学大学RAC	-	-	19	6	0	25	△15
	平均	72.88	3.50	28.00	3.20	0.00	31.20	△17
第9グループ	佐原	69.84	3	45	0	0	45	2
	多古	71.11	3	17	0	0	17	△1
	小見川	67.46	3	24	1	0	25	1
	佐原香取	91.33	3	21	0	0	21	1
	平均	74.94	3.00	26.75	0.25	0.00	27.00	3
第10グループ	成田	71.50	3	61	9	0	70	△1
	八街	88.21	3	19	4	0	23	1
	印西	85.00	4	7	1	0	8	△2
	白井	75.00	4	13	1	0	14	2
	富里	70.63	4	33	1	0	34	2
成田コスモポリタン	55.96	4	69	1	0	70	1	
平均	74.38	3.67	33.67	2.83	0.00	36.50	3	
第11グループ	柏	70.00	3	52	9	0	61	0
	我孫子	80.30	3	30	3	0	33	0
	柏西	82.71	3	47	7	0	54	4
	柏東	79.31	3	24	4	0	28	△1
	柏南	76.54	3	23	6	0	29	△2
平均	77.77	3.00	35.20	5.80	0.00	41.00	1	
第12グループ	習志野	70.39	3	26	1	0	27	0
	八千代	87.60	4	54	0	0	54	△1
	佐倉	71.43	3	40	2	0	42	0
	八千代中央	75.92	3	19	2	0	21	0
	四街道	67.77	4	23	4	0	27	1
	習志野中央	71.43	3	44	3	0	47	6
	佐倉中央	38.46	3	9	4	0	13	2
	習志野中央RAC	-	-	7	6	0	13	6
平均	69.00	3.29	27.75	2.75	0.00	30.50	14	
第13グループ	松戸	91.46	4	55	1	0	56	△1
	松戸東	84.76	3	42	0	0	42	△2
	松戸北	75.74	4	33	4	0	37	2
	松戸中央	68.05	3	31	8	0	39	4
	松戸西	77.78	3	27	0	0	27	4
	平均	79.56	3.40	37.60	2.60	0.00	40.20	7
第14グループ	野田	75.00	3	59	6	0	65	1
	流山	83.33	3	15	3	0	18	0
	野田東	71.43	2	14	0	0	14	0
	流山中央	62.50	2	19	1	0	20	0
	野田セントラル	88.10	4	20	1	0	21	1
平均	76.07	2.80	25.40	2.20	0.00	27.60	2	

クラブ数 82RC + 1RSC + 5RAC	
2023年 7月1日	地区会員数 2,690人
2024年 1月末日	地区会員数 2,728人 (増減38人)
2024年 1月末日	地区男性会員数 2,486人 (増減24人)
2024年 1月末日	地区女性会員数 242人 (増減14人)
2024年 1月末日	地区その他会員数 0人 (増減 0人)
当月平均出席率 75.95%	

今まで(内 女性会員)のみでしたが、2023年7月分報告より(内 男性会員 女性会員 その他会員)の3通りになります。LGBTQ+への理解を推進するロータリーとして第3の選択肢を用意することが必要だからです。なお、申告につきましては自己申告とし、戸籍上の性別ではなくて性自認によるものと致します。